

(前ページから) わっていた。未だにこういふ考え方の人が公的な立場にいるのかと唖然とする。人権教育が人権教育の一つの柱として重要であると認識しており、そのうえにたつて福祉行政を推進していく」との回答を受けた。

【知事室】

宮崎泉・室長は「『同対審』答申50年をむかえ、同問題解決に向けたとりくみを今後もおこなつていく」と回答した。和歌山県人権課題現況調査について明らかになつた課題については、文章回答をもらう。また、各部局に積極的に「障害者差別解消法」について

とりくみを徹底することを訴えた。

今年の重点として人権をテーマに、2月に改定した「和歌山県人権施策基本方針」を『県民の友』に掲載している。参加者から『県民の友』は字が小さいし、内容がわかりにくい。また、ヘイズビーチや「『同対審』答申から50年を迎えた」といった特集への正しい理解を知事室の職員が理解するようとりくんでほしいと提案した。知事に差別事件を報告してほしい。太地町の問題についても重要な問題であることを伝えてほしいと訴えた。

【総務部】

本人通知制度については、30市町村すべてが導入され、今後登録へのとりくみをすすめる。また、3年後の見直し制度については免除すると県から回答された。

【企画部】

時間の関係上、基本要求はすべて2次交渉でおこなうため、支部要求すべてをおこなつた。支部要求は回答のみ。支部要求についてもすべて文書回答で終えた。

【警察本部・公安委員会】

基本要求は回答のみ。支部要求についてもすべて文書回答で終えた。



あいさつする池田中執

炭鉱での重労働にふれる農林視察

農林視察

1963年5月1日、埼玉県狭山市で女子高校生が、31年7か月の獄中生活を余儀なくされ、1944年3月浦和地方裁判所で死刑判決を受けたが、同年9月の第2審法廷で犯行を否認したこととに端を発する。

その後、すべての証拠の開示と事実調べをおこなうよ

う東京高裁、東京高検に対し求めてきました。石川一雄さんは24歳で別件逮捕され、31年7か月の獄中生活を余儀なくされ、1944年12月21日再審請求中に仮

に再審開始を求め、辯護団は意見書とともに再審請求を棄却した。この

不當な棄却決定にたいし弁護団は直ちに東京高裁に異議申し立てをおこない、今

も闘いつづけています。

現在では、3者協議が

1999年7月9日、東京

高裁・高木裁判長は、事実

調べもおこなわないままに

います。しかしながら、

いえん罪が問われた。逮捕された石川一雄さんは、一

審で容疑を認め、1964

年3月浦和地方裁判所で死

るだつたことから、差別によ

るえん罪が問われた。逮捕

された石川一雄さんは、一

審で容疑を認め、1964

年3月浦和地方裁判所で死

るだつたことから、差別によ

るえん罪が問われた。逮捕

された石川一雄さんは、一